

研究研修・調査

政務活動費収支報告明細書

実績報告書 No.	項 目	研究研修費 ・ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期 間	2024年10月9日から10月10日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	第19回全国市議会議長会研究フォーラム in盛岡 会場:トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)			
	参加者	2 人			
		(氏名等) 芦原美佳子・丸山幸子			
	経 費	研究研修費	132,915 円	調査旅費	円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費 ・ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期 間	年 月 日 から 月 日まで			
	研究研修名 ・ 場所等				
	参加者	人			
		(氏名等)			
	経 費	研究研修費	円	調査旅費	円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費 ・ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期 間	年 月 日 から 月 日まで			
	研究研修名 ・ 場所等				
	参加者	人			
		(氏名等)			
	経 費	研究研修費	円	調査旅費	円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費 ・ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期 間	年 月 日 から 月 日まで			
	研究研修名 ・ 場所等				
	参加者	人			
		(氏名等)			
	経 費	研究研修費	円	調査旅費	円
項目別合計 (最終ページに記載)	研究研修費	132,915 円	調査旅費	円	

[illegible]

<内容>

第1日目：【パネルディスカッション】「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター：静岡大学人文社会科学部法学科教授 井柳美紀 氏

パネリスト：法政大学法学部教授 土山希美枝 氏

一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事 越智大貴 氏

読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 渡辺嘉久 氏

盛岡市議会議員 遠藤政幸 氏

1. 「主権者教育の新たな展開」 静岡大学人文社会科学部法学科教授 井柳美紀 氏
議長会による主権者教育の推進について

地方議会の課題として、投票率の低下、無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏りなどがある。地方自治法が改正され、地方議会の役割が明確化され、主権者教育を始めることとなった。そのため議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること、議会自らが主体的に行う取組に対する支援を講ずることとされている。

2. 「誰がための主権者教育」か 法政大学法学部教授 土山希美枝 氏

議会は主権者教育の「主体」か？ 高校生議会を主権者教育と議会が称するのは教育を軽く見てはいないか。高校生を議会が教育するのではなく、若き市民の市民参加の場として、声を実りある提言や提案にするなど、市民と議員が学びあう場とすることならできる。議会における主権者教育は、若き市民に価値のある機会にするためにに行い、誰がための場なのかで、議会の向き方は変わってくる。

3. 若者の政治・社会への意識から考える主権者教育の必要性

—13年間の主権者教育の取り組みを通して—

一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事 総務省主権者教育アドバイザー 越智大貴 氏

・若者は、政治や社会をどう捉えているのか？ → 若者は、関心がないわけではなく、参加しても意味がないと思っている。議会の役割としては、交流の場を増やし、「自分の意見が聞いてもらえる」と思ったり、「自分のアイデアが反映されるかも」と感じられる機会を増やすことである。こども・若者「に」機会をつくるのではなく、こども・若者「と」機会をつくるのが大事。

・学校現場における主権者教育の現状 → 政治的中立への過度な配慮があるが、それは学校が悪いわけではない。議会の役割としては、学校でもリアルな政治が扱いやすいような環境をつくることである。例えば、超党派で主権者教育チームをつくるなど。

・13年間の主権者教育の取り組みについて → 政治家との交流は、子どもたちの政治意

識の醸成に大きく影響する。

4. 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 渡辺嘉久 氏

例えば、50年後の学校の未来を考え、A. 授業料を引き上げる B. 地域住民が授業料を負担する C. 借金で賄う の3つの選択肢からどれを支持するのかを選択してもらったときに、人口減や社会保障費の増大と現役世代の負担増、借金依存の財政、かさむインフラ維持などの情報を教えた前と後では、結果に大きな違いが表れた。

「政治」は「未来」、「政治とつながる」＝「未来とつながる」、「政治を考える」＝「未来を考える」つまり、「政治とつながる」とは「自分の未来を創造する」ことである。

投票は「こうありたい」未来を実現するためにある。そのために、必要な情報を正しく持っているかが重要である。

5. 盛岡市議会の取り組み 盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

次代を担う高校生が、選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高めることを目的に平成29年から高校生議会を開催してきた。また、地域の3つの大学に市議会が出向き、学生と意見交換を行う「もりおか mirai おでかけミーティング」を行ってきた。

～パネルディスカッション～ 主権者教育についての提言を！

井柳氏：統一地方選挙の時期が悪い。学校の主権者教育と合わせることはできないか。

土山氏：市民参加として意見を出してもらい、応答していくことである。正しい答えが分からない中で、答えを出していく経験が乏しい。やり取りをすることが何かの変化につながっていく。議会は政策過程である。これが、学びとなる。

渡辺氏：議員はまちへ出よう。フューチャーデザインを行政がやっている。二元代表制なので、議会から提案してもいい。実現できれば、「変わったこと」を体験できる。

越智氏：単に投票率を上げるのが主権者教育ではない。なぜ選挙に行かなければいけないのか、ルールで厳格に示していないが、シチズンシップであるべきであり、知識には限界がある。

第2日目 【課題討議】「主権者教育の取組報告」

コーディネーター：東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村和徳 氏

事例報告者：伊那市議会前議長 白鳥敏明 氏

四日市市議会議員（第83代議長）諸岡覚 氏

山鹿市議会議員 服部香代 氏

1. 地方議会と主権者教育 河村和徳 氏

理想と現実を見てみると、主権者教育は、基本的にシチズンシップ教育であるべきだが、知識の享受が中心となっている。また、地域の社会的課題を自ら認識し、経験を含め

た形で社会を改善していく力を養う方向に持っていくべきであるが、模擬投票など投票者重視になっている、さらに、多様な意見があることを理解すべきであるが、実施の主体である「公（教育委員会、選挙管理委員会）」の連携の不十分さが見られる。

また、選挙年齢の18歳引き下げにより、地元にいるときに政治に触れ合う機会が低下しているため、その機会をつくる事が大事である。知識の提供だけでなく、実践の場の提供が必要である。

2. 伊那市議会 高校生の議会傍聴と意見交換会の取組 白鳥敏明 氏

平成30年の市議会議員選挙が無投票になったことで、全議員参加の「魅力ある議会づくり検討会」を設置し、令和元年から高校生の議会傍聴や意見交換会を実施してきた。令和4年度からは、市内の全高校を訪問し、議会傍聴、意見交換会の実施を依頼。

成果として、意見交換会に参加した高校生による請願の提出が行われ、全会一致で採択された。また、高校生からの要望を受け、担当常任委員会として現地確認をし、執行部へ改善要望の提出を行った。このように意見に対する市議会の検討結果を全て各校へフィードバックしている。

さらに、市内の中学2年生が集まり、地域の企業や団体を知り、将来の進路について考える学びの場である「中学生キャリアフェス」へ市議会として参加をしている。

3. 四日市市議会 主権者教育の取組について 諸岡覚 氏

令和4年、各常任委員会が、地元の高校・大学に出向いて、出前型意見交換会「ワイ！ワイ！GIKAI」を開催した。これには、議会が学校に働き掛けて開催されたものと、学校から申込を受けて開催したものがある。成果として、開催校の生徒が市議会を訪問、所管事務調査報告書を生徒へ手渡し、担当課へも送付したことを報告し、その後、本会議一般質問を傍聴することとなった。今後は、制限を設けず、各種業界団体や各種労働組合など幅広い対象との交流を目指していきたい。

高校生議会については、テーマごとの委員会に分かれ、意見交換を行い、本会議場で意見書の提出、採決を行っている。

さらに、毎年7月よっかいち市議会だより#こども号の発行も行っている。

4. 山鹿市議会が取り組んだシチズンシップ教室 服部香代 氏

議論をし、意見を集約していく経験を子どもの時から経験しておくことが大切と考え、小学校でのシチズンシップ教室を企画。市内全小学校へ協力依頼し開催している。議員が自らの言葉で実体験を語り、読み聞かせボランティアによる「ポリポリ村のみんなしゅしゅぎ」の読み聞かせ、模擬投票などの内容となっている。子どもたちから、市議の仕事がしてみたいと思ったなどの感想が寄せられている。

～まとめ～ 河村和徳 氏

2023年地方自治法の改正のポイントは、第89条の2にある。自治体のルールは首長が

決めていると大半の人が思っている。二元代表制の意味、制度の教育を合わせて行う必要があるのではないか。

<今後の活用計画>

主権者教育の取組の重要性を改めて学び、議会として、そのための機会、きっかけを作っていくことが役割であると感じた。意見交換会や、高校生議会など、形はどのようなものであっても、①開催の継続、②いただいた意見や要望に対して、必ず返答をすることが、主権者教育にあつては大きな意味を持つと実感した。本市の未来を担う子どもや若者たちに、未来を実現するのは自分たちであると思ってもらいたい。単に意見交換するだけでなく、双方が学びとなる主権者教育を本市議会でも取り組んでいくことを提案していく。

公明党尾張旭市議団行程表 令和6年10月9日(水) 1日目

時刻			移動手段等	金額
6:15		尾張旭駅改札前集合		
6:20	発	尾張旭駅 ↓	名鉄瀬戸線 (栄町行)	330円
6:38	着	↓		
6:51	発	大曾根駅 ↓	JR中央本線 (名古屋行)	名古屋市内→盛岡 乗車券往復割
7:06	着	↓		10,690円
7:22	発	名古屋駅 ↓	JR新幹線 のぞみ68号	特急券
8:57	着	↓	(東京行)	4,920円
9:08	発	東京駅 ↓	JR新幹線 はやぶさ11号	特急券
11:20	着	↓	(新青森行)	6,230円
11:45	発	盛岡駅 盛岡駅西口バスターミナル	専用シャトルバス	
12:00	着	↓		
		トーサイクラシックホール岩手 ↓	全国市議会議長会 研究フォーラム	
16:30	発	↓	13:00~16:20	
16:45	着	パシフィックホテル盛岡	(徒歩)	
			運賃小計	22,170円

宿泊先	パシフィックホテル盛岡	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1-13-55 TEL 019-625-3000
-----	-------------	--

公明党尾張旭市議団行程表 令和6年10月10日(木) 2日目

時刻			移動手段等	金額
8:30	発	パシフィックホテル盛岡	(徒歩)	
		↓		
8:45	着	↓		
		トーサイクラシックホール岩手	全国市議会議長会 研究フォーラム	
		↓	9:00~11:20	
11:30	発	↓		
11:45	着	盛岡駅西口バスターミナル	専用シャトルバス	
12:50	発	盛岡駅	JR新幹線	特急券
15:04	着	↓	はやぶさ22号(東京行)	6,230円
15:30	発	東京駅	JR新幹線	特急券
		↓	のぞみ45号	4,920円
17:09	着	↓	(博多行)	
17:20	発	名古屋駅	JR中央本線	盛岡→名古屋市内
		↓	(高蔵寺行)	乗車券往復割
17:33	着	↓		10,690円
17:46	発	大曽根駅	名鉄瀬戸線	330円
		↓	(尾張瀬戸行)	
		↓		
18:01	着	尾張旭駅		
			運賃小計	22,170円
			運賃合計	44,340円

※交通費合計:44,340円×2名分=88,680円

※添付の交通費領収書は大曽根⇒盛岡JR分(2名分)87,360円

※名鉄瀬戸線 尾張旭⇄大曽根(2名分)1,320円はICカードを使用

ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご利用いただきありがとうございます。

このご利用明細は、お振込み・お預け入れの記録です。

年月日	取扱店番	お取引内容
060925		お振込み
受付通番	銀行番号	支店番号
		口座番号
お取引金額		
ATMで通帳の		¥43,960*
お振込みが		
できます。		
お振込み	残高	
できない場合		* * *
11.12	¥275*	おつり
カ) JTB様		
666-0751ハミカコ 666-1751ヤマサチ		
コ様		

領収書等貼付用紙

領収証発行日: 2024年10月08日

1 / 2

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階

株式会社JTB
盛岡支店
担当者:
領収証番号: 324394317000089001
登録番号: T8010701012863

領 収 証

公明党尾張旭市議団 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計 25,960円 (税込)

イベント名	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡	
イベント会期	2024年10月09日 ~ 2024年10月10日	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	25,960円	2,360円 -
	(10%対象)	25,960円 2,360円 -
	(8%対象)	0円 0円 ※1
	(対象外)	0円 0円 ※2
入金額	25,960円	

公明党 尾張旭市議団 様

金額 ¥87,360円
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2024年 9月10日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031563

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

大曾根駅

現金出納社員

132,915 円

4年 11月 8日

りやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
貼ってください。

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

公明党尾張旭市議団 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 18,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・11日開催 (盛岡市)